

愛情を持って子育てを

今年六月、奈良県において医師の息子である長男（高校一年生）が自宅に放火し、母親と幼い兄妹（七歳と五歳）が焼死するという、実に痛ましい事件が発生した。放火と殺人容疑で逮捕された長男は、犯行の動機について「ことあるごとに（父親に）殴られ、暴力がゆるせなかった」と供述しているとのこと。

「医師になつて欲しい」という父親の期待が、過剰なまでに長男に向けられ殺人という悲惨な結果をまねいてしまったのである。ここに至るまでにこの少年はなにがしらのサインを発していたに違いない。周りの大人がそれをキャッチできなかったのは実に残念である。

子育てをする上で最も大切なのは、子どもも一人の人格を持つ存在であるという認識。そして何よりも親の愛情を精一杯注いであげることである。米国の教育家ドロシー・ロー・ノルト博士は『子は親の鏡』という詩において、子育ての重要性を次のように表現している。

- ★ けなされて育つと、
- ★ 子どもは人をけなすようになる
- ★ とげとげした家庭で育つと、
- ★ 子どもは乱暴になる
- ★ 不安な気持ちで育つと、
- ★ 子どもも不安になる
- ★ 「かわいそうな子だ」と言われて育つと、
- ★ 子どもはみじめな気持ちになる
- ★ 子どもをばかにすると、
- ★ 引っこ込み思案な子どもになる
- ★ 親が他人をうらやんでばかりいると、
- ★ 子どもは人をうらやむようになる
- ★ 叱りつけてばかりいると、

- ★ 子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- ★ 広い心でせつすれば、
- ★ キル子にはならない
- ★ ほめてあげれば、
- ★ 子どもは明るい子に育つ
- ★ 愛してあげれば、
- ★ 子どもは人を愛することを学ぶ
- ★ 認めてあげれば、
- ★ 子どもは自分が好きになる
- ★ 見つめてあげれば、
- ★ 子どもは頑張り屋になる
- ★ 分かち合うことを教えれば、
- ★ 子どもは思いやりを学ぶ
- ★ 親が正直であれば、
- ★ 子どもは正直であることの大切さを知る
- ★ 子どもに公平であれば、
- ★ 子どもは正義感のある子に育つ
- ★ やさしく思いやりをもって育てれば、
- ★ 子どもは優しい子に育つ
- ★ 和気あいあいとした家庭で育てば、
- ★ 子どもは「この世の中はいいところだ」と思えるようになる

今一度、
自分の子育てについて
考えてみませんか？



◆お問合せ：…宜野湾市児童虐待防止
ネットワーク会議

児童家庭課（家庭児童相談室）
☎ 八九三―四四― 内線（二八五）

茶

ぐわーゆんだく

29



ジューグヤーの夜に…

「仲秋の名月」といわれ、お月見の夜とされる旧八月十五夜。今年は十月六日（金）にあたります。

各家庭では、火の神や仏壇にフチャギ（小豆がまぶされた餅）を供え、普天間や大謝名では獅子舞が演じられます。名では獅子舞が演じられます。戦争でとどえていた大謝名の獅子舞は、今年で復活三十年目。けんか獅子・男獅子という意味でシーシケラシーと呼ばれます。フチャー（誘い役）の鈴に合わせて、数回噛みつく素朴な踊りですが、その中にも勇壮さと威厳さが感じられます。

普天間の獅子は、一九六九（昭和四四）年に新調しました。新調した当初、獅子は村の旧家に預けられていましたが、家人が每晚獅子に襲われる夢を見ることが多くなり、獅子を移したところ、治まったといえます。琉球国王から贈られた等の由来が残る普天間の獅子舞は、ユーモラスな踊りが特徴で、とても愛嬌のある獅子です。

秋の夜風が吹く満月の夜に、雄雄しく舞う獅子の姿から、地域の文化を感じてみるのはいかがですか？



フチャーに合わせて踊る獅子（大謝名）



赤いあごひげが特徴（普天間）
*写真はいずれも1997年撮影

「宜野湾市史」へのお問合せ
教育委員会文化課 ☎ 八九三―四四―